

基本政策

自立する子どもの育成（岡山っ子育成プロジェクト）

子どもたちの確かな学びと豊かな心、健やかな体を育むための教育内容の充実と家庭や地域社会の教育力の向上を図るとともに、教育、保健、福祉、医療の各分野の連携を進め、子どもの育成に関する相談支援体制の充実を図ります。

教育環境の整備（教育環境づくりプロジェクト）

市民協働による地域に開かれ信頼される学校を実現するため、適正な規模の教育環境づくりを図るとともに、多様な学習活動に対応できる安全で快適な学校施設の整備や魅力ある教職員の育成に努めます。

生涯学習の充実（生涯学習プロジェクト）

市民が生涯にわたって主体的に学習できるよう学習情報の提供や生涯学習施設の整備などに努めるとともに、市民のための幅広い学習支援環境づくりを推進します。

文化力の育成（魅せる歴史と文化プロジェクト）

歴史遺産や伝統文化の保護・継承に取り組むとともに、子どもたちをはじめ、広く市民に活用される文化空間の形成を目指します。

人権教育の総合的な推進（ユニバーサル社会プロジェクト）

人権が尊重される明るい社会の実現に向けて、市民の人権意識の高揚を図り、様々な人権問題の解決を目指す人権教育を総合的に推進します。

市勢の概要

1 はじめに

瀬戸内の温暖な気候と豊かな自然に恵まれ、また、中四国地域の交通拠点に位置する本市は、明治22年6月の市制施行により、旧岡山藩城下町を中心に面積5.77 k m²、人口47,564人で発足した。

平成8年4月に中核市に移行し、平成17年3月には御津町・灘崎町との合併、さらに平成19年1月には隣接する建部町・瀬戸町との合併により、新「岡山市」が誕生。人口70万人を擁する中四国屈指の都市として、着実に発展を続けている。

21世紀を迎え、本格的な少子高齢化や長引く景気の低迷等、社会経済情勢の変化は著しく、今まさに地方分権推進の流れの中で、市民自治の原点に立ち返り、新たな課題に的確に対応しながら独自性・創造性を一層発揮していくことが求められている。

平成21年4月、全国で18番目の政令指定都市に移行した。本市は、交通の結節点という地の利、恵まれた自然、住環境、全国に誇る保健・福祉・医療、教育文化などの蓄積を生かしたまちづくりを進め、広い市域の一層の発展を支える情報通信基盤等を整備し、市民との協働によるまちづくりによる「水と緑が魅せる心豊かな庭園都市」を都市の形とし、「中四国をつなぐ総合福祉の拠点都市」を都市の使命として、人々の幸せに貢献する都市を創造していく。

教育委員会としては、「岡山市市民協働による自立する子どもの育成を推進する条例」(愛称：岡山っ子育成条例)を制定し、家庭・学校園・地域社会・事業者及び行政が協働して子どもの育成に取り組みながら学校教育の発展を目指すとともに、岡山市都市ビジョン(新・岡山市総合計画)をふまえた教育行政政策の体系を確立し、教育行政のより一層の充実を図っていく。



市長 高谷 茂 男

2 岡山市の地勢

岡山市は面積789.91 k m²という広域の都市である。

地形的には、旭川と吉井川が瀬戸内海に注ぐ岡山平野の中央に位置し、北部は吉備高原に連なる山並みが、南部は地味豊かな沃野が広がっている。水と緑あふれる豊かな自然環境と温暖で晴れの多い気候や自然災害の少なさとが相まって、美しさと暮らしやすさを兼ね備えた都市である。

3 人口・世帯数の推移

	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
世 帯 数	270,122	274,354	286,324	289,786	293,089	295,901	297,429
人 口	669,349	671,442	695,879	697,882	699,776	700,498	700,292

(各年12月末現在、平成23年は4月末現在)